



大会に向けて士気を高める選手

県外大会へ向け闘志

ミニラグビー本県選抜

第13回神奈川県ミニラグビーファイナルカップに出場する本県選抜チームが、いわき市の鮫川河川敷グラウンドで練習に励んでいる。選手は「悔いが残らないように頑張りたい」と意気込んでいる。

東日本大震災後、屋外で思い切り体を動かし、ラグビーを楽しんでもらおうと本県の子どもたちが大会に

招待されたことをきっかけに、本県チームが参加し続けている。

本県からはいわき、勿来、福島、郡山の各ラグビースクールに所属する小学6年生24人で選抜チームをつくり、大会に臨む。

選手たちは昨年12月から月2回、同グラウンドに集まりチームの戦術や連係を確かめている。主将の平子

夢奈さん(勿来少年ラグビースクール)は「勝つために自分のできることをしたい」と話した。

大会は3月4、5の両日、神奈川県立スポーツセンター(神奈川県藤沢市)で開かれる。